

フェアプレイ
インタビュー
【プロ野球】
福岡ソフトバンクホークス所属
千賀滉大選手



プロフィール
生年月日：1993年1月30日
出身地：愛知県

2017年
ワールドベースボール
クラシック
ベストナイン

這い上がったからこそ得た力

育成選手だったからこそ
自分を第三者目線で見られる

2020年シーズンのプロ野球で、4年連続で日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークスのエースである千賀滉大選手は、160キロ近い高速球と「お化けフォーク」と呼ばれる変化球を武器とする、日本を代表する投手です。今シーズンは投手の主なタイトルである最多勝、最多奪三振、最優秀防衛率を総なめにしました。また2017年の世界大会では侍ジャパン（日本代表）の一員として強豪国と戦い、大会ベストナインに選出。今年の東京オリンピックでもその活躍が大いに期待されます。

そんな千賀選手ですが、プロ野球界に入った2011年の頃は全くの無名選手でした。育成枠と呼ばれる、一軍の公式試合には出られない選手としてチームに入団。しかし、入団2年目の途中に一軍の試合に出られる権利を掴むと、翌年はプロ初勝利、そして2016年に2桁勝利を挙げるなどメキメキと才能を開花させます。成長の理由を本人はこう分析します。

育成枠という一番下の立場から「這い上がった」と表現する千賀選手。目指す頂上が遠くても、そこまでの道のりを正確に把握し、努力と挑戦を繰り返して一歩一歩進み続けた結果が、今の活躍に繋がったのです。

仲間と持ちつ持たれつ
補い合う

今では誰もがエースと認める存在ですが、2017年の世界大会では自分のことで精一杯で、チーム全体が見えていなかったそうです。しかし先輩たちが「仲間のミスはみんなのミス、仲間の手柄はみんなの手柄だから」と良いムード作



りをしてくれたおかげで伸び伸びとプレーできたことが結果に繋がりました。その経験が今に生きています。

「今は若い選手がミスをした時には、引きずらないように『大丈夫。次は頼むな』とか『ミスは1日1個までやで』と必ず声をかけるように心掛けています」
そんな千賀選手の行動がチームを一つにまとめ、日本シリーズ4連覇を達成する大きな原動力になったのかもしれない。



「フェアプレイ宣言」しました!!

FAIRPLAY STORY
フェアプレイスクール
スポーツも日常も、自分に恥じない行動を!
大澤明美
平田洗介

カーリングの楽しさを伝えるスクールが開催された
カーリングはセルフジャッジでプレーします
セルフジャッジってなんですか?
対戦相手同士のみで判定しながら試合を進めることです

あつ!
ストーンに触っちゃったら反則ってさっき教わったよね…
言わなきゃ分からないんじゃない?
ストーンに当たっちゃいました…

ブルをすると相手から信じてもらえなくなり自分も相手を信じられなくなりませんか?
セルフジャッジは成立しません

うーんでも…
足がストーンに当たっちゃいました…
自分のミスを正直に申告してすばらしいです!

それにミスをごまかしてしまうと自分自身も気持ちよくないしあとで後悔しますよね

自分に恥じない行動をする…
これは普段から心がけてほしいです
スポーツを通じて日常生活でのフェアプレーも身につけられるといいですね

